













グリメピリド錠・OD錠「ケミファ」を服用される患者様へ

〈グリメピリド錠「ケミファ」〉

	0.5mg	1mg	3mg
表			
裏			

〈グリメピリドOD錠「ケミファ」〉

	0.5mg	1mg	3mg
表			
裏			

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用してください。
ただし、OD錠は水なしでも服用できます。
- 指示された時間に服用を忘れてしまったら、1回とばして次の指示された時間から服用してください。

● 糖尿病の薬が処方されています。

この薬は、すい臓にはたらきかけてインスリンの分泌を促し、血糖を下げます。

- 危険な低血糖症を起こすことがあります。
- 予防と処置法に十分注意してください。
- この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。

1. 低血糖症とは

- 血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることもあります。
- はなはだしい場合には、けいれんを起こしたり意識を失うこともあります。
- 空腹時に起こり、食物を食べると急に良くなるのが特徴です。
- 低血糖症は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら、軽いうちに治してしまわなければなりません。

(裏面もご覧ください)

- なお、低血糖症が起こっていることを本人が気づかなかったり、わからなかったりすることがありますので、家族やまわりの方もいっしょに注意してください。

2. 低血糖症の予防には

- (1) 薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。
- (2) 食事をみだりに減じたり、抜いたりしないよう食事療法はきちんと守ることが大切です。酒の飲みすぎ、激しい運動、下痢などは低血糖症を起こしやすいので注意してください。食事がとれない時は、主治医に連絡してその指示をうけてください。
- (3) 薬の中には、いっしょに飲むと低血糖症を起こすものがあります。何か別の薬を飲む時には、主治医に相談してください。他の医師に何か薬を処方してもらう時には、すでに糖尿病の薬を飲んでいることを申し出てください。

3. 低血糖症が起こったら

- (1) 低血糖症になっても軽いうちは糖分を食べると治ります。平素から3～4個の袋入り砂糖を持ち歩き、すぐその場でとることが必要です。がまんしてはいけません。ただし、アカルボース(商品名：グルコバイ等)、ボグリボース(商品名：ベイスン等)、ミグリトール(商品名：セイブル)を併用している場合には砂糖は不適切です。これらの薬剤は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、必ず**ブドウ糖**をとってください。
- (2) 十分注意していても、ときには意識を失うような強い低血糖症が起こらないとも限りません。自分は現在糖尿病で薬を飲んでいることを書いたカードを身につけておき、すぐに治療してもらえるようにしておくことが安全です。
- (3) 低血糖症を起こした場合は、必ず早目に主治医に報告してください。

- ## 4. 高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事している時に低血糖症を起こすと事故につながります。特に注意してください。

あなたが飲むおくすりは グリメピリド錠「ケミファ」です

グリメピリド錠「ケミファ」は、すい臓にはたらきかけて
インスリンの分泌を促し、血糖*を下げるおくすりです。

*ヘモグロビンA1c(HbA1c)、食後血糖、空腹時血糖

0.5mg錠



表



裏



1mg錠



表



裏



3mg錠



表



裏



おくすりの飲み方と量

あなたの症状などにあわせて、お医者さんが決めます。
通常、1日0.5～1mgより開始し、1日1～2回朝または朝夕、食前
または食後に服用します。維持量は通常1日1～4mgで、必要に
応じて適宜増減し、1日最高投与量は6mgまで処方されます。

おくすり(グリメピリド錠「ケミファ」)を 飲む時に注意すること

- コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 自分の判断でおくすりを中止したり、おくすりを変更したりすると病気が悪くなることがあります。
- 指示された時間に飲むのを忘れてしまったら、1回とばして次の指示された時間から飲んでください。
- 決して2回分を一度に飲まないでください。(低血糖症を起こすことがあります。)
- お医者さんまたは薬剤師の先生の指示通りに飲んでください。
- 誤って多く飲んだときには、お医者さんまたは薬剤師の先生に相談してください。
- 発熱、下痢、嘔吐おうとがあり、または食欲がないため食事ができないときは、お医者さんに連絡して指示を受けましょう。

低血糖の対処法

- だるさ、強い空腹感くふくかん、冷や汗どうき、動悸(胸がドキドキする)、手足のふるえ、意識いしきが薄れるうす、などの症状があらわれます。その場合はすぐに砂糖あるいはブドウ糖を摂取し、意識が薄れてきた場合はただちにお医者さんに連絡してください。
- α -グルコシダーゼ阻害剤(ベイスン、グルコバイ、セイブルなど)と併用をしているときに低血糖症状が認められた場合にはブドウ糖をとりましょう。

保護者の方へ

小さなお子様の場合には低血糖の症状が分からずに、自分で対処できないことがあるため、「低血糖かな?」と思う症状があらわれたときには砂糖やブドウ糖を摂取させ、よくならないときは主治医にみてもらうようにしてください。



5 お父さん、お母さんは どんなことに気をつければいいの？

！ かぜなどで発熱したり、下痢、吐き気などで食欲がなくて食事がとれない時には、かかりつけのお医者さんに連絡して指示を受けましょう！

保護者の方へ

- 小さなお子様の場合には、自分で低血糖症状が起こったのかわからず、対処することができません。保護者の皆様には、日ごろから、注意深く観察していただき、低血糖症状が起こったと思われる場合には、すぐに糖分を摂取させてください。糖分を摂取させても、よくなる場合には、すぐにかかりつけのお医者さんに診てもらおうようにしてください。
- 2型糖尿病は、自覚症状がほとんどないため、勝手に通院治療をやめてしまう方がいらっしゃいます。しかし、小児の2型糖尿病をほうっておきますと、若年成人でも糖尿病性網膜症、腎症、神経障害などを合併する方が増えており、将来的には失明、人工透析、足壊疽による下肢切断など大変な状況に陥る方もいらっしゃいます。是非、子どものころから、きちんと継続的に治療し、学校や家庭で食事療法、運動療法が守られているか確認するとともに、定期的にお医者さんに診てもらおうようにしてください。



施設名

しょう に がた とう によ う びょう 小児の2型糖尿病

【監修】駿河台日本大学病院小児科 准教授 浦上 達彦先生



もくじ

- 1 2型糖尿病ってどんな病気なの？ -- ①
- 2 2型糖尿病ではどんな治療をするの？ ②
- 3 2型糖尿病のお薬には
どんなものがあるの？ ----- ③
- 4 日ごろどんなことに注意して
生活すればいいの？ ----- ⑤
- 5 お父さん、お母さんはどんなことに
気をつければいいの？ ----- ⑦



1 2型糖尿病ってどんな病気なの？

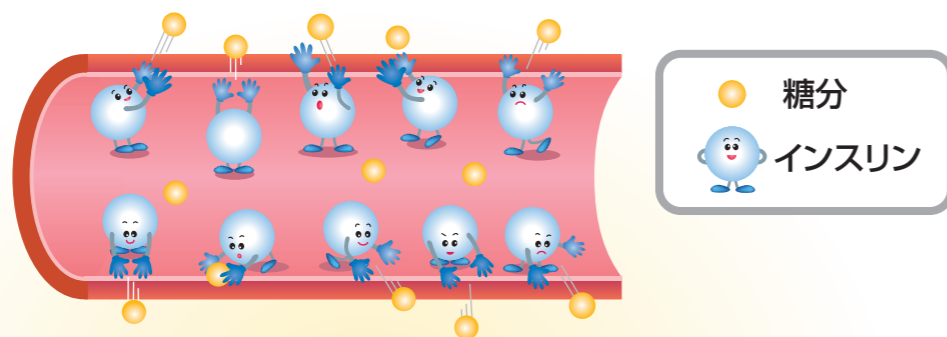


糖尿病は血液中の糖分が普通の人よりも常に高くなる病気です。主に大人がかかる病気ですが、最近は食生活の変化や運動不足により子どもでも増えています。

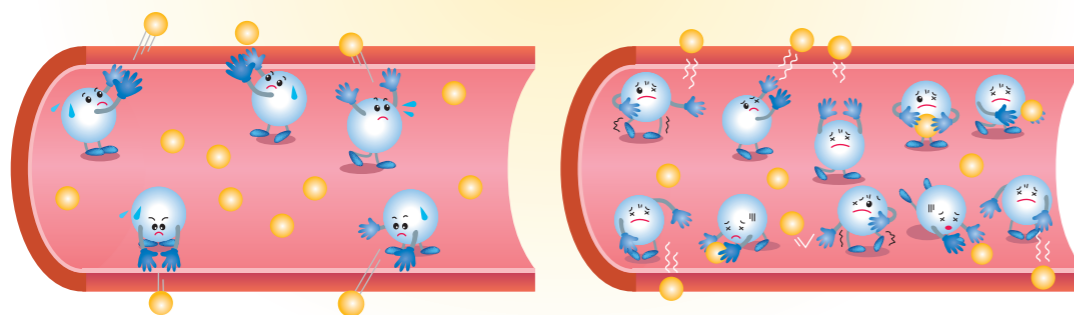
人は血液中の糖分をからだの中に取り込むために、インスリンというホルモンが必要です。

2型糖尿病の人は、このインスリンというホルモンの量が減っていたり、量が十分にあっても働きが悪くなったりして、血液中の糖分が高い状態です。子どもの場合、テレビゲームばかりして運動をしなかったり、甘いジュースの飲み過ぎやスナック菓子の食べ過ぎなどで肥満になることが主な原因と考えられます。こんな生活をしている子は、気をつけましょう！

普通の人



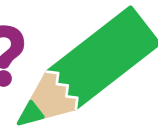
2型糖尿病の人



インスリンの量が少ない場合

インスリンの働きが悪い場合

2 2型糖尿病ではどんな治療をするの？



2型糖尿病では、生活習慣の改善が大切です

食事習慣の改善

- <例>
- 1日3回、規則正しい食事をとる。
 - スナック菓子や甘いジュースをとりすぎないようにする。
 - 夜遅い時間に食事をとらないようにする。

運動習慣の改善

- <例>
- 外で遊んで体をよく動かす。
 - 何か定期的にスポーツをする。

お薬を出された場合はきちんと飲みましょう！

- お薬を出されたら、お医者さんの言うとおりに、毎日決められた時間に決められた量だけ飲みましょう！
- 自分の判断だけで飲むのをやめないようにしましょう！



2型糖尿病では、「いたみ」「しびれ」などを自分で感じる事が少ないので、ついにお医者さんに行かなくなってしまいがちです。しかし、ほうっておくと目の病気や腎臓の病気、神経の病気になって取り返しのつかないことになりかねません。このような病気にならないためにも、かならずお医者さんに通いましょう！



3 2型糖尿病のお薬にはどんなものがあるの？

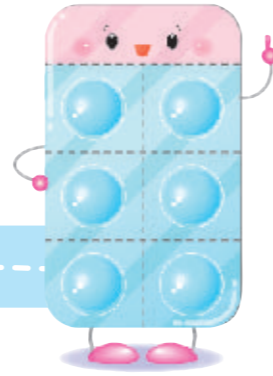


お薬には、飲み薬と注射があります。

主なお薬の種類と特徴

● 飲み薬

インスリン分泌を促進させるお薬



- **スルホニル尿素薬 (SU薬) : 1日1~2回服用**
インスリンを分泌するすい臓に直接作用してインスリンの分泌をよくし、血液中の糖分の量を減らします。
- **速効型インスリン分泌促進薬 : 1日3回食事の直前に服用**
毎回の食事の直前に服用することにより、食後に上昇する血液中の糖分の量を減らします。
- **DPP-4阻害薬 : 1日1~2回服用**
インスリンを分泌するすい臓に間接的に作用してインスリンの分泌をよくし、血液中の糖分の量を減らします。
※これらのお薬は、食事の前や食事の時間が遅れた時に低血糖(詳しくは5~6ページに記載)が起こることがありますので、その時の対応をきちんと覚えておきましょう！

糖分の吸収を遅らせるお薬

- **α-グルコシダーゼ阻害薬 : 1日3回食事の直前に服用**
食後、おなかでの糖分の吸収を遅らせて、食後の血液中の糖分の量を減らします。
※おならが増えたり、おなかが張ったり、下痢などがおこることがあります。

インスリンの働きをよくするお薬

- **ビグアナイド薬 : 1日2~3回服用**
肝臓から血液中に余計な糖分が出ていくのを抑えて、血液中の糖分の量を減らします。
- **インスリン抵抗性改善薬 : 1日1回服用**
血液中の糖分が筋肉や細胞に入るのを助け、血液中の糖分の量を減らします。
※吐き気、下痢、浮腫(むくみ)などが起こることがあります。



● 注射

インスリンそのものを補うお薬

- **インスリン注射 : 1日1~4回注射**
からだの中で不足しているインスリンを注射して補うことにより、血液中の糖分の量を減らします。

インスリン分泌を促進させるお薬

- **GLP-1アナログ注射 : 1日1回注射**
ひとのからだの中で、インスリン分泌を促進する物質を注射して補うことにより、インスリン分泌をよくし、血液中の糖分の量を減らします。





4 日ごろどんなことに注意して生活すればいいの？

お薬による2型糖尿病治療を受けていると、「低血糖」と呼ばれる症状が起こることがあります。「低血糖」が起こった時のために、以下の内容をよく読んで、すみやかに対応するようにしましょう！

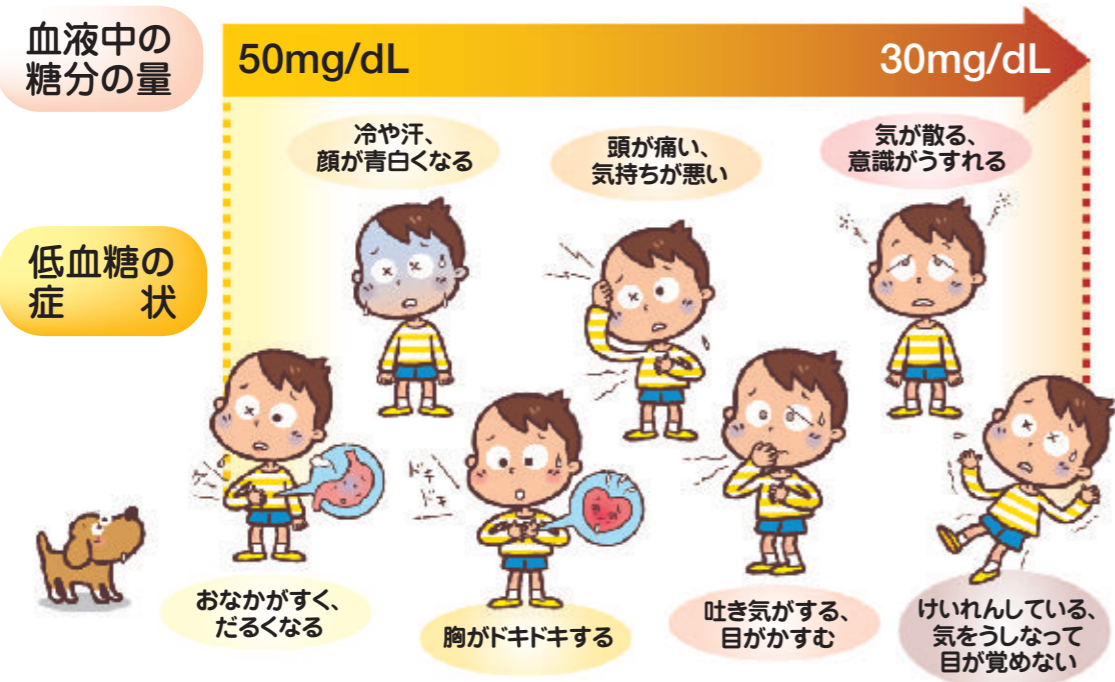
「低血糖」は、インスリン分泌を促進させるお薬で起こりやすいことが知られています。

低血糖って何？

お薬による2型糖尿病治療を受けていて、食事の量がいつもより少なかったり、食事をするのが遅くなったりして血液中の糖分の量が減り過ぎた状態のことです。

低血糖が起きた時の症状は？

低血糖症状は、人によっても血液中の糖分の量によっても起こる症状が違います。自分の場合、低血糖症状としてどんな症状があらわれるのかを知り、対応することが大切です。



低血糖が起きる原因は？

- 食事の量がいつもより少なかった。または食事の時間がいつもより遅れた。
- お薬を飲んだ(使った)が、食事をするのが遅れた。
- いつもより運動量が多かった。または激しい運動をした。
- お薬をいつもより多く飲んでしまった(使ってしまった)。

低血糖が起きた時の対処方法は？

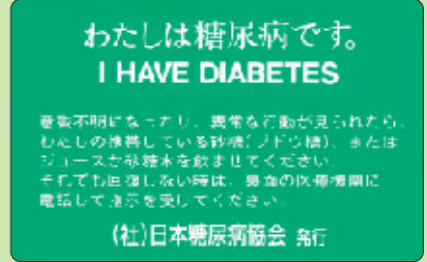
- 少しでも「低血糖かな?」と思ったら、決してがまんしてはいけません。
- すぐに市販のジュース、砂糖、ブドウ糖など甘いものを取りましょう！
普通は数分でふだんの状態に戻ります。
(カロリーゼロや糖分ゼロの飲み物では役に立ちません)
- 日ごろからスティックシュガーやブドウ糖の錠剤などを3~4個持ち歩き、すぐにその場でとることが必要です。
- **α-グルコシダーゼ阻害薬(ベイスン、グルコバイ、セイブルなど)を飲んでいる場合には、特にブドウ糖でなければ吸収されませんので、ブドウ糖を持ち歩きましょう!**
- 緊急時にそなえてIDカード*を持ち歩きましょう!
- 低血糖症状なのか、はっきりしない場合には、すぐに
お医者さんに診てもらいましょう!



*周囲の人に自分が糖尿病であることを知らせるカードです。自分が服用しているお薬の種類や量、かかりつけの病院の連絡先などを記入しておきましょう。胸ポケットなど見つけやすいところにいれておきましょう。

※IDカードの入手方法については、主治医の先生、または(社)日本糖尿病協会までお問い合わせください。

●緊急時のための糖尿病患者用IDカード(見本)●



学校で低血糖症状が起きた時のために!

学校で低血糖症状が起きた時のために、担任の先生、保健の先生、クラブの先生などに、自分が糖尿病であること、低血糖症状が起きた際に必要な対応をきちんと伝えておきましょう!